

2023

1 JAN.

TACHIKAWA HOSPITAL



NEWS NO. 72

2▶ 新年のご挨拶

4▶ 泌尿器科のロボット支援腹腔鏡下手術について

8▶ 各診療科部長  
ご挨拶・紹介

20▶ 懇話会アンケート

# 立川病院 だより



# Greeting



国家公務員共済組合連合会  
立川病院 病院長

片井 均

## ご挨拶

新年おめでとうございます。謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。連携医療機関および福祉施設の先生方のご厚情とご支援のもと立川病院はつつがなく新年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

昨年も立川病院は院内感染制御を徹底し、積極的に新型コロナ患者の治療にあたりました。主に家庭内での新型コロナ感染で欠勤者が増え、一部病棟で新入院患者の受け入れを停止する事がありましたが、病院機能をほぼ通常通り維持することができました。引き続き、職員一丸となりこの未曾有の事態に対応していきます。

昨年2月に開始されたロシアのウクライナ侵攻の終息の見通しはたたず、医業にも大きく影響しています。サプライチェーンの崩壊による材料不足、エネルギー価格の高騰による光熱費、材料価格の上昇は医療収支を徐々に圧迫しはじめています。さらに円安が拍車をかけ物価高騰はとまりません。「ポスト・コロナ」においても診療控えは続き医業経営は冬の時代となる様相を呈してきています。ポスト・コロナでの医療体制を各医療機関は、ますます真剣に考えていかなければならないようです。

令和4年度診療報酬改定においては、地域の医療機関の機能分化・連携がさらに推進され、当院はより急性期病院としての性格を求められることになりました。

地域医療支援病院として地域完結型医療の要となり、連携医療機関および福祉施設の先生方に頼りにされる急性期病院の試みのひとつとして、当院はがん医療に注力しています。一昨年、がん専門病院では対応困難な併存疾患を有する患者、地域間の移動が困難な高齢がん患者にも早期発見から緩和医療まで包括的に対応し、最良のがん医療を提供することを目的として「院内がんセンター」を立ち上げました。活動が評価され昨年4月に、東京都がん診療連携拠点病院に指定されました。

多くの高齢者が複数の病を患い、複数の専門医の医療や

病・病連携、病・診連携により連続したケアを必要としている現実があるなかで、ケアを実現するためには医療連携はますます重要となります。医療連携充実のため本年は「患者支援センター」を立ち上げる予定です。地域医療連携センター、入退院センター、チーム医療を形成する各部門などがワン・フロアに集まり、医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床心理士、医師事務作業補助者、メディカルソーシャルワーカーなどが常駐します。患者の利便性の向上と連携医療機関および福祉施設の先生方とより迅速により緊密な対応を行うことを目指しています。

「ポスト・コロナ」において連携医療機関、福祉施設そして患者、地域住民の方々から信頼を得るためには、当院は「単なる総合病院でなく、特徴ある役割を確立できるか」すなわち「存在意義」が問われていると思います。まさに当院のビジョン「立川病院ブランドの創生」の実現が求められていると思います。立川病院の信条は3つのP（Patient centered care、Partnership、Professionalism）ですが、安心・安全で最良の医療を尽くし結果に責任を持ち地域住民が誇りと思う病院になるべく、ポスト・コロナにおいても職員ひとりひとは4つめのPとしてのPassionをもって目標を目指し行動していきます。

年頭にあたり皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 泌尿器科のロボット支援腹腔鏡下手術について

泌尿器科医長 宮崎 保匡

立川病院泌尿器科では2022年4月から日本泌尿器科学会/日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会認定のロボット支援手術プロクター（手術指導医）の赴任に伴い、ロボット支援腹腔鏡下手術が開始されました。当院では産婦人科において2022年1月から先駆けてロボット支援腹腔鏡下手術が既に行われていましたが、泌尿器科でもいよいよ開始となりましたので当科での現況について紹介したいと思います。

## 【ロボット支援腹腔鏡下手術とは？】

ロボット支援腹腔鏡下手術とは、手術支援ロボットを用いて行う腹腔鏡下の手術になります。手術支援ロボットには様々なタイプがありますが、現在、手術支援ロボットとして本邦で主に使用されているのは、米国インテュイティヴ・サージカル社が開発した内視鏡下手術ロボット「ダ・ヴィンチ」(da Vinci Surgical System)と、川崎重工業とシスメックスの共同出資により設立されたメディカロイド社が開発した国産の「ヒノトリ」(Hinotori Surgical Robot System)になります。

腹腔鏡下手術は、腹部に5～12mm程度の穴を3～6箇所程度開けて、カメラや手術器具をその穴から挿入し、モニターに映し出された映像を見ながら術者とカメラを持つ助手が協調しながら行う手術です。ロボット支援腹腔鏡下手術では、腹腔鏡の手術器具の操作がロボットのアームによる制御で行われ、実際の手による操作よりも、より可動域が広く、精密にできるのが特徴です。またカメラを操作するのも術者となりますので術者が見たい部位を選択して観察できることも大きな特徴になります。腹腔鏡下手術では術者とカメラ助手の協調が術野の観察において重要となりますが、ロボット支援腹腔鏡下手術の場合は術者がカメラ操作も行いますので意図する部位を素早く観察できることがメリットとなります。また、カメラを術者が操作するため、助手の人数も腹腔鏡下手術より少ない状況で手術することが可能です。

世界で初めての腹腔鏡の手術が行われたのは1900年代の初頭になりますが、泌尿器科領域での腹腔鏡下手術の歴史は浅く1970年代の開始となります。ロボット支援腹腔鏡下手術は、2000年7月にアメリカ食品医薬品局（FDA）に承認された後、海外中心で行われていましたが、本邦では2012年4月から医療保険制度に収載され、保険適応でロボット支援手術が始まりました。他科に先駆けて泌尿器科においてロボット支援腹腔鏡下前立

表1 ロボット手術の歴史(本邦)

• 2000年7月にアメリカ食品医薬品局 (FDA) が承認
本邦の保険収載
• 2012年4月 ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術 (RARP)
• 2016年4月 ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術 (RAPN)
• 2018年4月 ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術 (RARC)
• 2020年4月 ロボット支援腹腔鏡下仙骨腫固定術 (RSC) ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術
• 2022年4月 ロボット支援根治的腎摘除術・腎尿管全摘術 ロボット支援副腎腹摘除術・副腎髓質腫瘍(褐色細胞腫) 摘除術
• 2022年時点で、Davinci導入数は、約400施設、500台が稼働

腺全摘除術がまず保険適応となり、以後、本邦でのロボット導入施設の増加に伴い、ロボット支援下の手術件数が増加し、また、ロボット支援手術の保険適応の術式が増えていきます（表1）。現在では、本邦で約400施設、約500台の手術ロボット「ダ・ヴィンチ」が稼働し、様々な科で様々な術式のロボット支援手術が行われている状況です。

私自身は、2014年から前立腺全摘術のロボット支援手術、2016年から腎部分切除術のロボット支援手術を執刀し始め、現在までに290例以上のロボット支援腹腔鏡下手術を執刀してきました。2014年当時、ロボット支援手術を始めた当初とは全く違い、現在では本邦において多くの施設でロボット支援手術が広まり、泌尿器科を含め、外科、産婦人科を主体に多くの術式でロボット支援下の手術が行われている状況は全く想像できませんでした。

### 【ロボット支援腹腔鏡下手術の利点】

手術ロボット「ダ・ヴィンチ」の利点を以下にあげます。

- ① 鉗子の可動域：術者が手術器具を操作する腹腔鏡下手術において手術器具である鉗子の可動性に関しては操作に制限がありますが、「ダ・ヴィンチ」では鉗子の先端が人間の手指や手首の動きを模倣する可動範囲を持つ構造のため制限が軽減されます。ロボットの関節の可動域は540度と人間の手首の可動域より広いいため、精密な操作の際に特に力を発揮します（図1）。
- ② 鮮明な3D画像：鮮明な3D画像で、空間を認識しやすいため、目的の位置に鉗子を素早く正確に到達させることが可能となります。
- ③ 手振れ防止機能、縮尺機能：実際の手の動きを縮小して動かすことができる縮尺機能が備わっており、手振れ防止機能も備わっているため、腹腔鏡では操作が困難な部位でも非常に精密な手術を行うことができます。
- ④ モニタに指示部位を書き込みながら手術指導が可能：専用のモニタからタッチパネル式で手術映像にリアルタイムに書き込めるため、手術の指導がしやすくなります。ロボット支援手術は術者が初心者であっても比較的早期に安定した手術が可能になり、また手術指導者は手術を安全に的確に指導できます。

腹腔鏡下の手術の利点でもある、出血量が少なく、創部が小さいため術後疼痛が少なく、離床が早いことに加えて、ロボット支援下

### da Vinci Xi サージカルシステム INTUITIVE SURGICAL



図1

で手術の精度が高まることで、より精密な手術が可能となります。良い点ばかりかと思われれることも多いのですが、現在のロボットならではの欠点もあります。一つは触覚の欠如です。開放手術や腹腔鏡下手術では手の触覚が手術を進める際に重要な要素になりますが、現在の手術支援ロボットに触覚のシステムはありません。しかし、実際に手術をしてみると、鉗子の先端の触覚が視覚的に伝わってきて、術者は主に視覚情報から触覚の情報を推察するようになります。2つ目はロボットのアームや鉗子同士の干渉が起こり得て、触覚がないために危険な操作になる可能性もあり、術者は鉗子同士の操作に常に注意を払う必要があります。手術において重要な愛護的な操作は、ロボットの特性を十分に理解しておくことが必要となります。また、従来の開腹手術や腹腔鏡下の手術がロボット支援手術と比べて、癌の治療成績が劣っているというわけではありませんので御自身の病気の状態とこれから受ける治療法、手術内容については主治医と良く相談した上で決めることが重要です。

### 【当科でのロボット支援腹腔鏡下手術について】

当院では2022年4月から自費診療としてロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術を開始、6月からロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術と仙骨腫固定術を保険診療として開始しています。11月からはロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術が保険医療請求として認可され、保険診療として施行できるようになりました。今回は、当科で行っているロボット支援手術のうち、ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術について紹介したいと思います。

### 【ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術について】

現在では、本邦においてロボット支援腹腔鏡下に腎悪性腫瘍の手術が腎全摘術、腎部分切除術に関わらず保険適応で施行できるようになりましたが、2016年4月当初にロボット支援腹腔鏡下手術で保険適応となったのは腎部分切除術だけでした。腹腔鏡下腎部分切除術は技術的にとても難易度の高い手術ですが、ロボット支援下になることで技術的に困難な点が克服され、ロボットの精緻性が手術適応の拡大をもたらした術式になります。具体的な例を上げると、7cm以下の腎臓の悪性腫瘍であればロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の保険適応がありますが、従来、腹腔鏡下腎部分切除術では困難と考えられていた腎臓内に完全に埋没している腫瘍や腎門部（腎臓の動静脈部）に近接するような腫瘍に対してもロボット支援腹腔鏡下腎部分切除手術が積極的に行われるようになりました。

当院でのロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術での入院経過は、手術前日に入院して、オリエンテーション、下剤処置、経口補水療法が始まります。手術当日は全身麻酔下に手術を行い、術後HCU入室となり、術後1日目に一般病床に転床して、離床開始、飲水を食事が開始となります。以後、採血で腎機能を確認して、術後5日目に退院となり、入院期間は6泊7日となります。

手術の際は、腎部分切除術の場合は様々な器具や材料が使用されます。血流の豊富な腎臓を癌の部位だけ部分的に切除するため、予め腎動脈をクランプするためのブルドック鉗子や、部分切除した腎臓を縫合するための緩まない組織吸収性の縫合糸（V-LOC）や、出血を止めるための止血剤（サージセル、タコシール）です（図2）。また、腹腔鏡下腎部分切除の際は、腹部に充満させたガス（気腹）を可能な限り一定の圧力に保ち続ける必要があります。腎部分切除の際に気腹の圧力が低くなると切除した部位からの出血が増え

## 機材



図2

直接把持ができるエコプローブを用いています（図4）。ロボットの鉗子で腫瘍部位を直接観察しながらリアルタイムに腫瘍の切除部位を同定できるので、より正確な切除ラインを描くことが可能になります。このように、手術の精度を高めるためにロボット支援下腹腔鏡下腎部分切除術では多種多様な機材が必要になりますが、当院では幸い多くの機材が揃っており、部分切除するには難易度の高い腎腫瘍に対しても、正確で安全な手術ができる環境が整っています。

近隣の医療機関の先生方におかれましては、健康診断等で腎腫瘍が指摘された方、他にも前立腺の腫瘍マーカーであるPSA高値を指摘された方、骨盤臓器脱の症状に困っている方等、是非、当院泌尿器科外来を御紹介して頂ければ幸いです。

最先端技術であるロボット支援手術を通じて、当院の病院理念である患者さんへの「質の高い、思いやりのある医療の実践」を引き続き目指していきたいと思っております。

てしまうからです。当院ではロボット支援下腹腔鏡下腎部分切除手術の際に、気腹装置としてエアシールインテリジェント・フローシステム（循環式気腹装置）を用いて気腹圧を可能な限り下げずに、良好な手術視野を確保できる機器を用いて手術を行っています（図3）。また、腎部分切除の際には腫瘍の部位を正確に同定する必要がありますが、この際に用いる超音波装置は、ロボットの鉗子で



図3



図4

## 循環器内科

新年おめでとうございます。

連携医の先生方には平素よりお世話になり御礼申し上げます。

循環器内科は心筋梗塞・狭心症、不整脈、心不全、弁膜症、心筋症、先天性心疾患、大動脈瘤などの心血管系疾患の診療を行っております。糖尿病などの生活習慣病の患者さんの虚血性心疾患のスクリーニング検査にも力を入れておりますので是非ご紹介をお願い申し上げます。昨年7月に開催した「立川病院循環器病診連携の会（WEB開催）」には多くの連携医の先生方に参加いただき重ねて御礼申し上げます。

循環器内科スタッフ一同、さらなる飛躍に向けて一層努力してまいります所存ですので本年もどうぞよろしくお願いいたします。

循環器内科部長 森谷 和徳

## 呼吸器内科

新年明けましておめでとうございます。連携医の先生方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また去年は多くの患者さんをご紹介頂き誠にありがとうございました。

当科は常勤医5名（高田、入江、福井、舩津、黄）に防衛医科大学校からの内科専攻医2名が加わり、肺がん・呼吸器感染症・びまん性肺疾患など呼吸器疾患全般の診療を行なっています。院内では呼吸器外科や放射線診断科、放射線治療科と協力し、正確な診断治療が行えるよう心がけています。

昨年以上に地域の急性期医療に貢献できるよう努力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

呼吸器内科部長 黄 英文



## 消化器内科

明けましておめでとうございます。連携医の先生方には平素より大変お世話になり、また多くの患者さんをご紹介いただき心より感謝申し上げます。



消化器内科は、柏崎一男、金子光太郎、宮澤正治、古宮憲一、上田真裕で食道、胃、十二指腸、大腸、肝臓、膵臓、胆道など消化器疾患全般の診療を行っております。上下部消化管内視鏡検査、治療とともに内視鏡的逆行性膵胆管造影検査下総胆管結石除去、内視鏡的ステント留置術などの治療も行っております。ウイルス肝炎の経口薬による治療、他の肝疾患や肝臓の治療にも取り組んでおります。外科をはじめ他科との密な連携も心がけております。

今後も先生方とともにより良き医療を目指して努力していきたいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。

消化器内科部長 金子 光太郎

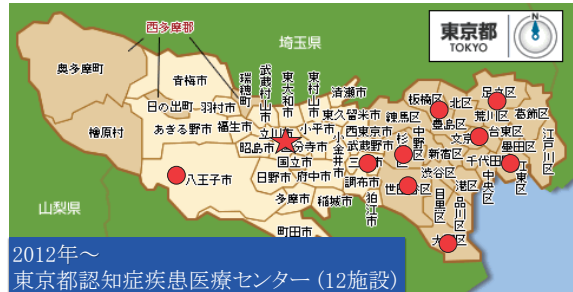


## 脳神経内科

あけましておめでとうございます。脳神経内科では認知症、パーキンソン病、てんかん、神経免疫疾患、脳血管障害を中心に診療に当たっております。常勤医としては神経内科専門医である服部と久住呂で日々の診療に当たっているほか、非常勤医として新たに慶應義塾大学より関医師を招きパーキンソン病外来を設置しました。また、精神科に防衛医大より茂木医師を招き、てんかん外来を設置しました。ぜひ地域の先生方にご活用いただければ幸いです。東京都地域拠点型認知症疾患医療センターとしても多職種の方々および近隣の医師会のご助力を得て引き続き行っていきます。今年も地域の方々のご支援・ご指導のほどよろしくお願い致します。

脳神経内科部長兼東京都地域拠点型認知症疾患医療センター長 服部 英典

東京都地域拠点型認知症疾患医療センター  
フリーダイヤル 0120-766-613



## 血液内科

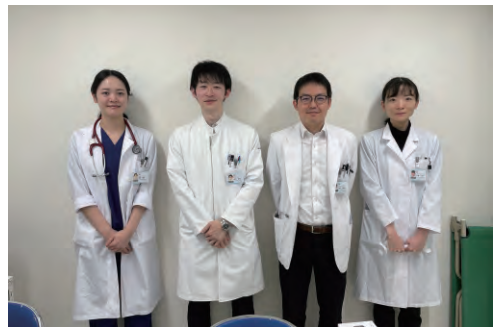
あけましておめでとうございます。連携医の先生方には大変お世話になり御礼申し上げます。

血液内科は現在、常勤医4名の体制で診療を行っております。昨年に比べて外来初診枠や入院病床数を拡大し、患者さんをご紹介頂いた際に円滑な対応ができるよう努めております。

しかしながら、多摩地域における血液内科の診療体制は引き続き逼迫した状況にあります。患者さんの緊急度の把握と迅速な対応のため、大変お手数をおかけしますが事前の診療情報のご提供についてご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

さらなる診療の質の向上と地域医療への貢献を目指して参りたいと存じますので、本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

血液内科医長 外山 高朗



## 腎臓内科

新年あけましておめでとうございます。

現在腎臓内科は、常勤医4名体制のもと診療を行っております（二木功治、篠塚圭祐、安田格、吉田隆人）。当科では、「検診異常などを契機とした腎疾患の拾い上げ、原因診断」、「高血圧症・電解質異常の原因精査、加療」、「急性腎障害・慢性腎臓病症例に対する原因精査・加療」、「末期腎不全患者に対する腎代替療法の提示ならびに導入」など、あらゆる腎疾患を扱い精査加療を行っています。「立川CKDネットワーク」としての活動も継続しております。本年も引き続き、立川市ならびに周辺地域における腎臓診療の一翼を担うべく、努力していく所存であります。地域の先生方におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

腎臓内科部長事務代行 二木 功治

## 糖尿病・内分泌代謝内科

あけましておめでとうございます。糖尿病・内分泌代謝内科は2022年4月より常勤スタッフが3名に増員となりました。昨今の糖尿病治療薬の進歩に伴いこれまでの治療と大きく変化していることを考慮し入院による血糖管理や薬物調整を積極的に行っておりますのでお気軽にご紹介いただけますと幸いです。加えて逆紹介も積極的に行っておりますので先生方の医療機関へ受診された際は引き続き御加療のほどよろしく願いいたします。ご相談、お困りのことがありましたら地域医療連携センターにご連絡ください。



糖尿病・内分泌代謝内科医長 矢島 賢

## 膠原病・リウマチ内科



謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中はひとかたならぬ御厚情を賜り、暑く御礼申し上げます。

膠原病・リウマチ内科は、令和4年4月より片桐翔治医師（金曜日、非常勤）、今井悠気医師（木曜日、非常勤）2名の体制で外来診療を行なっています。受診希望の患者さんがいらっしゃいましたら、地域医療連携センターを通じてご紹介頂ければ幸いです。本年もご支援ご指導よろしくお願い申し上げます。

内科統括部長 黄 英文

## 小児科

新年あけましておめでとうございます。

連携医の先生方には平素より大変お世話になり、また多くの患者さんをご紹介いただき心よりお礼申し上げます。

小児科は常勤医7名、非常勤医師7名の構成で一般外来、血液、神経、発達、内分泌代謝、循環器、呼吸器、腎臓、及び小児心理等の専門外来診療を行っています。昨年までは



感染対策の観点から、小児病棟入院

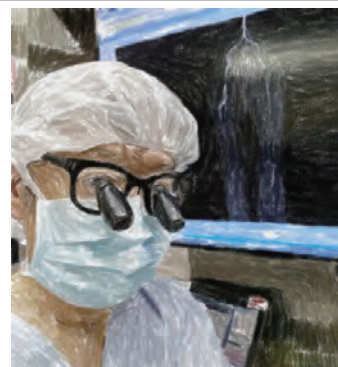
に関して厳しい付き添い・面会制限を設けていましたが、現在はワクチン接種回数や自費PCR検査等の要件はあるものの、ご希望があれば保護者の付き添い入院や面会が可能となりました。こどもたちや保護者の皆様が安心して入院生活を送れるよう努めて参りますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



小児科部長 水上 愛弓

## 血管外科

昨年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。血管外科は末梢動静脈、リンパ管疾患を中心に診療を行っています。下肢静脈瘤に関しては最新のラジオ波焼灼術による低侵襲手術を継続して提供し、最新の治療である血管内塞栓術も実施しています。局所麻酔にて行うため当日から歩行可能であり、日帰りもしくは1泊2日入院で行っています。リンパ浮腫に対しては、専門のケアを提供できるリンパ浮腫外来も開設しています。動脈疾患では、外科手術、血管内治療、皮膚ケア等集学的治療を実施しています。常に迅速かつ丁寧な診療を心がけていきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



血管外科部長 秋山 芳伸

## 消化器外科

明けましておめでとうございます。

消化器外科は、常勤5名の体制にて手術、抗がん剤治療、消化器内視鏡検査・治療、救急対応を行っております。手術においては、腹腔鏡手術を中心に施行しており、2022年秋からは大腸癌に対するロボット手術（ダビンチ手術）を導入しました。また良性疾患に対しては、より低侵襲である単孔式腹腔鏡手術を行っております。



本年も胆石、胆嚢炎や鼠径ヘルニアなどの良性疾患に対しては、より低侵襲な治療を提供し、食道癌、胃癌、大腸癌、膵臓癌、胆道癌などの消化器癌に対しては根治性の高い手術かつ低侵襲な治療を患者さん個々に合わせ行っております。食道癌、胃癌、大腸癌に対しては、ESDなどの内視鏡治療も積極的に行っております。また急性虫垂炎、胆嚢炎や腸閉塞などの急性腹症に対する救急対応も充実させていき、地域へ貢献していきたいと思っております。

本年もご支援・ご指導のほどよろしくお願い致します。

消化器外科部長 亀山 哲章

## 乳腺外科

新年あけましておめでとうございます。立川病院乳腺外科は年間100件程度の乳癌手術をしています。乳癌の治療は標準治療に基づき、患者さん個々の状況に合わせてガイドラインに沿った形の治療方針を提示し、患者さんと十分に相談をしながら治療方針を決めています。また乳房温存手術が出来ない場合には、要望に応じ形成外科と協力しながら同時再建、二期的再建なども提案しています。治療中の患者さんの手術や抗癌剤、他の治療に対しての不安や恐怖を軽減出来るように心掛けながら診療にあたっています。乳腺外科を本年もよろしくお願い申し上げます。

乳腺外科部長 服部 裕昭

## 呼吸器外科

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、引き続きコロナ対策に留意しつつ通常診療の質を落とさぬことに注力し、原発性肺癌や縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、気胸などに対して180例余の手術を実施することが出来ました。また、ダビンチによるロボット手術を導入し、30例余のロボット手術を実施しました。



これも、コロナ禍のなかにあっても地域の医療を支え、貴重な患者さんをご紹介いただいた地域の皆様方の努力とご支援の賜物と心得ております。この場を借りて御礼申し上げます。

新年も感染対策に手を尽くしながら、地域の皆様に最善の医療を提供できるよう、引き続き努力してゆく所存です。

皆様が一日も早く正常の診療活動・日常生活に復しますよう、祈念いたします。

本年も、引き続きご支援ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



山本

木下

呼吸器外科部長 山本 達也

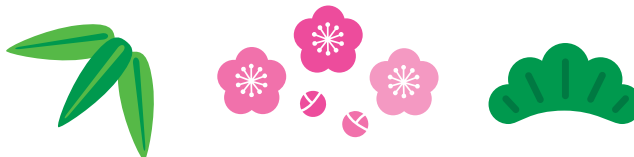
## 整形外科

新年おめでとうございます。当科スタッフは手術でしか治せない運動器疾患のスペシャリストをめざし日々研鑽に励んでいます。我々の使命は各人の担当分野において大学病院など高度医療機関に劣らない専門的医療の提供と考えます。一方、個人の集合体としての立川病院整形外科はジェネラルに幅広いエリアをカバーした隙の無いチーム医療をめざします。医学の目覚ましい進歩のなか提供する医療は複雑ですし、それを受ける患者側も高齢化社会のなか多数の基礎疾患を内包し複雑化しています。他科やパラメディカルと連携し満足度の高い医療の実現を目指します。



なお昨年度は目標を大幅に上回る1400件の手術件数に達しました。我々の経験や技能の向上は紹介受診いただける患者さんあってのことです。本年も立川病院整形外科を応援いただけますと幸いです。

整形外科部長 鈴木 禎寿



## 形成外科

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

現在、形成外科は常勤医2名体制で、全身麻酔、局所麻酔、外来診療を行っております。手術では、続発性（上肢/下肢）リンパ浮腫、原発性（上肢/下肢）リンパ浮腫（乳がんや子宮がん、卵巣がん、前立腺がん術後が誘因）、まぶたの疾患（眼瞼下垂症や皮膚弛緩症、睫毛内反症、下眼瞼内反など）、顔面骨骨折（鼻骨骨折、頬骨骨折、上顎骨骨折など）、悪性腫瘍切除後の欠損部位に対する再建手術、良性腫瘍（脂肪腫など）、合（多）趾症などを中心に積極的に行っております。受診希望の患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介のほど何卒よろしくお願ひいたします。

形成外科分野の対象疾患は多岐にわたります。外科的治療によりQOLの向上に貢献することを目的とし、患者さん一人一人の精神的負担の軽減や社会復帰を目指し、診療にあたります。

形成外科医長 濱田 茉莉子

## リハビリテーション科

明けましておめでとうございます。

医療連携で日頃お世話になっている病院・施設の皆様、地域連携医の先生方におかれましては健康第一で穏やかな新年を迎えておられることと思います。リハビリテーション科では、入院した患者さんが早期回復出来るよう日々の訓練と生活上の助言やホームプログラム指導等を行っています。外来診療においては、装具や車いすの相談、診断書作成や上肢下肢痙縮に対するボツリヌス毒素注射の診療を行っています。呼吸リハビリ指導や摂食嚥下機能評価訓練、失語症、高次脳機能障害に対しての外来リハビリも対応していますので引き続き患者さんをご紹介頂ければ幸いです。

当科スタッフ一同、昨年に引き続き健康管理と感染予防対策に十分配慮しつつ自己研鑽に励みリハビリテーション医療を提供してまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

リハビリテーション科部長事務代行 黒川 真希子

## 眼科

新年おめでとうございます。

眼科は常勤医4名で、外来は初診・再診各1名の2診で行っています。現在、医師は野村昌弘（部長、網膜硝子体）、内田敦郎（医長、網膜硝子体）、伊藤賀一（医員、眼科一般）、野地将（専攻医、眼科一般）です。本年3月末で野村昌弘が定年退職しますので、内田敦郎が眼科部長になります。内眼手術は全例入院で行っています。白内障は原則片眼ずつ2泊3日としています。硝子体内注射も積極的に行っています。網膜硝子体疾患、緑内障の手術等は必要に応じての時期の手術となります。早急な手術が必要な状態の時はできるだけ速やかに対応させていただきますが、その場合はご一報ください。

ご紹介いただいた患者さんは経過がよければ早期に逆紹介させていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。



眼科部長 野村 昌弘

## 脳神経外科

新年明けましておめでとうございます。

脳神経外科の体制も2年目となり、手術実績も増加しております。これも連携医の先生方のお陰と深く感謝申し上げます。今年より脳神経外科は新しい手術ナビゲーションシステムと、安全に手術が行える術中モニターシステムを使用できるようになりました。運動・感覚機能を温存しつつ最大限の治療効果が得られること目指してまいります。

また、昨年は片側顔面けいれんや正常圧水頭症の患者さんを多くご紹介いただきありがとうございました。引き続きご紹介いただけますと幸いです。担癌の方の頭蓋内転移例を含めて、脳腫瘍も積極的に診療してまいりますので、今年もなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

脳神経外科顧問 兼 部長事務代行 篠田 正樹

## 産婦人科

新年あけましておめでとうございます。常日頃より連携医の先生方からご支援を賜り心より感謝申し上げます。産婦人科では人数が半減しましたが①

【ロボット手術・腹腔鏡手術】木須医師に非常勤で継続していただき良性腫瘍と骨盤臓器脱を泌尿器科と連携して対応するように努力しております。子宮悪性腫瘍ラパロも引き続き行っています。②【周産期メンタルヘルスケア】精神神経科/小児科/認定看護師/助産師/認定薬剤師/MSWの多職種で質の高い支援を提供しています。③【女性ヘルスケア】認定施設を取得しました。思春期～更年期女性を含めたトータルライフ支援を志します。④【産科食の充実】パレスホテル監修のアフタヌーンスイーツで産後一層の喜びを味わうことができます。■立川病院ブランド■

のチーム医療で貢献して参ります。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

産婦人科主任部長 平尾 薫丸



## 精神神経科

新年明けましておめでとうございます。

当科の入院病棟は、引き続き精神障害者の身体合併症病棟として運営しております。昨年度も例年と同様300人超の入院患者さんを受け入れ、院内各科との連携により幾多の処遇困難例に対応しました。昨年度は、当院としては初めてclozapineによる無顆粒球症の症例2例の転入院を受け入れました。clozapine投与症例数は今後増えこそすれ、減ることはないと予測されます。裏方としての当科病棟の需要も高まるものと思います。今後ともご支援の程よろしく宜しくお願い申し上げます。

精神神経科部長 桑原 達郎



## 皮膚科

新年あけましておめでとうございます。皮膚科は現在常勤4名体制で、多摩全域のあらゆる皮膚疾患、common diseaseから重症皮膚感染症、重症薬疹、皮膚悪性腫瘍の手術から集学的治療まで行っています。皮膚科領域では新規薬剤の登場が近年続いており、当科は分子標的薬使用承認施設として乾癬等に対する抗体薬の他、アトピー性皮膚炎のJAK阻害薬を用いた治療にも取り組んでいます。また皮膚症状に隠れた全身疾患も見逃さないよう心掛けており、難治の病態の患者さんをご紹介いただければ他科とも連携しつつ、対応いたします。本年もよろしくようお願い申し上げます。



皮膚科部長 稲積 豊子

## 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

新年あけましておめでとうございます。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の常勤医は、本年1月現在、羽生昇（部長 耳鼻咽喉科指導医、がん治療認定医、専門：腫瘍）、富永健裕（医長 耳鼻咽喉科指導医、気管食道科専門医、専門：喉頭）、立之大智（医員 耳鼻咽喉科専門医）、文入悠（医員）、高谷寛三郎（医員）の5人体制となっております。



紹介予約制にご協力いただきありがとうございます。

外来診療は、2～3診で行っており、甲状腺や頸部リンパ節のエコー下穿刺吸引細胞診、補聴器相談、身体障害認定（難聴）、にも対応しております。

手術は耳鼻咽喉科・頭頸部外科全般（口蓋扁桃摘出、鼻副鼻腔手術、耳下腺・顎下腺・甲状腺良性悪性腫瘍、咽喉頭内視鏡手術、声帯顕微鏡手術、鼓膜チューブ挿入術、舌咽喉頭癌手術）を扱っております。病診連携をさらに充実させ、患者さんの診療情報共有を図りたいと考えておりますので、本年もどうぞよろしくご指導をお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長 羽生 昇

## 泌尿器科

新年あけましておめでとうございます。旧年中は連携医の皆様大変お世話になりました。

泌尿器科は昨年より明瀬祐史、宮崎保匡、香久山裕史による常勤3名および水曜、金曜、土曜外来非常勤医師での新体制で診療にあたっております。

当科ロボット（DaVinci Xi）支援下腹腔鏡手術では前立腺がん手術、腎臓がん手術、膀胱脱手術を行っております。今後も地域の皆様にご貢献できるよう努力いたしますので、何卒ご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



泌尿器科部長事務代行 明瀬 祐史

## 緩和ケア科（緩和ケアチーム）

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりありがとうございました。立川病院緩和ケア科は主治医、外来、病棟チームとともに患者さん・ご家族をサポートしています。体の症状、精神的な問題、療養場所の選択など様々な問題の迅速な解決に努めています。昨年は、ホスピス緩和ケア週間に合わせて緩和ケアを紹介するポスター展示を実施いたしました。緩和ケアを必要としているのは、がんのみならず心不全、腎不全、神経難病などの命に関わる疾患に苦しむ方も同様です。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



緩和ケア科部長 秋山 芳伸

## 放射線治療科

あけましておめでとうございます。

当科では、毎日約30～40名の院内外の患者さんに放射線治療を行っています。がんの治療には手術・抗がん剤・放射線治療などがありますが、放射線治療の特徴は、いろいろな種類・進行具合のがんに効果が期待できる事と、体への負担が少ないので通常の生活を続けながら治療を受けられる事などが挙げられます。医療技術が急激な進歩を遂げている昨今に於いても、がんは難しい病気ではありますが、なるべく患者さんの思いに添う治療となる様に心掛けてます。

本年も、主治医の先生と連携しながら、スタッフ一丸となって患者さんに最適な医療を提供してゆきたいと考えています。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

放射線治療科部長 沓木 章二

## 放射線診断科

新年あけましておめでとうございます。

本年度より放射線診断科の部長事務代行をつとめております、岡村哲平と申します。放射線診断科は昨年、橋本統医師（前部長）が退任され、宮澤雷太医師が赴任しました。地元出身で、当院で初期研修を受けた気鋭の診断医です。常勤医3名体制ですが、脳神経領域、骨・軟部領域、核医学診断部門のスペシャリストを含む多くの非常勤医師の助けを受け、充実した診療体制を整えております。今後とも、質の高い画像診断を可能な限り迅速に行っていきます。本年も宜しくお願ひ致します。

放射線診断科部長事務代行 岡村 哲平

## 麻酔科

麻酔科は昨年4月より白駿永医師、大橋祐介医師が加わり常勤7名となりましたが、9月には澤田医師が退職となり秋から常勤6名の体制となりました。手術室においては、昨年1月からロボット支援手術が導入され、関連部署との連携のもとで産婦人科、呼吸器外科、泌尿器科、消化器外科と順次手術が拡大され、順調に進められています。今後も地域の患者さんに入院前から退院後までより円滑に質の高い医療を提供できるように、周術期医療に携わる一員として努めて参りたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

麻酔科部長 福積 みどり



## 救急科

新年あけましておめでとうございます。

救急科は業務時間内（平日8：30～17：15、第2・4土曜日8：30～12：30）の救急車搬入患者および重症かつ緊急を要する救急患者の初期診療にあたっています。医療機関から専門治療目的で当院の地域医療連携センターにご紹介いただいた救急患者については、当該診療科の救急担当医を中心に診療しています。

救急外来での診療に際しては、一般救急患者とは動線を分離した陰圧室を有熱者等の新型コロナウイルス感染症疑い患者に用いて、迅速抗原検査での陰性確認と、病棟入院時にはPCR検査を実施し、感染対策を徹底させています。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



副院長・救急科部長 並木 淳

## 歯科口腔外科

新年明けましておめでとうございます。

当院歯科口腔外科は常勤歯科医師（部長 木津英樹、医長 臼田 慎、長嶺宏樹、二宮真希）の4名、また非常勤歯科医師として慶應病院歯科口腔外科より派遣して頂いており、歯科衛生士は常勤3名で診療を行っています。

初診予約制となっております。当院外来予約センター（042-523-3856）で予約をとって受診して下さい。初診日には問診と検査、応急処置を行い、抜歯を含めた手術は予約となっております。なお緊急性がある場合には歯科口腔外科外来に直接お電話下さい。

当科は専門的に埋伏歯抜歯、歯根端切除術、インプラント治療、顎変形症手術を行っており、入院・全身麻酔による口腔外科手術を行っています。また随時短期入院（日帰りまたは1泊）で困難な抜歯や小手術、全身疾患を持った方や不安や痛み心配な方の手術を静脈鎮静下にて行っています。

近年病院歯科口腔外科として周術期口腔ケアにも力を入れております。当院よりかかりつけ歯科や近隣の先生方に口腔ケアを依頼することもあるかとおもいます。その際にはご協力のほどお願い申し上げます。

今後も安全で安心な診療ができるようスタッフ一丸となり心がけて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



歯科口腔外科部長 木津 英樹



## 透析センター



新年あけましておめでとうございます。

透析センターは、腎臓内科が中心となり、泌尿器科からの協力・連携を得ながら、当院におけるすべての血液浄化療法管理を担っております。腹膜透析の導入、管理も実施しております。最近ではエコーガイド下シャント血管拡張術も当科で実施し、当院導入の血液透析患者さんについては、ブラッドアクセストラブルの対応を可能な範囲で実施しております。当院は日本透析医学会認定施設、ならびに日本腎臓学会研修施設として、医師・看護師・臨床工学技士の教育に積極的に取り組んでおります。血液透析管理業務として、外来ならびに入院全診療科患者さんの透析管理を行っています。血液透析以外にも、多様な疾患に対して血漿交換などをはじめとするアフエーシスを、他科の要請に沿って扱います。引き続き地域の先生方におかれましては、当院での入院を検討されている透析患者さん、合併症治療など急を要する患者さんなどおられましたら、ぜひ地域医療連携センターを経由の上、ご相談ください。

透析センター長 二木 功治

## 内視鏡センター

新年あけまして、おめでとうございます。

内視鏡センターは、現在、呼吸器外科（山本、木下）、呼吸器内科（黄、船津、福井、入江、高田）、消化器外科（亀山、筒井、矢作、益田、岡田）、消化器内科（金子、宮澤、古宮、上田）が、検査、治療に従事しています。

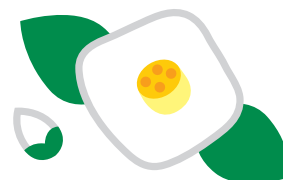
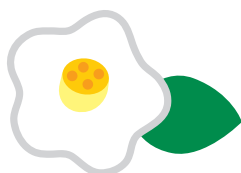
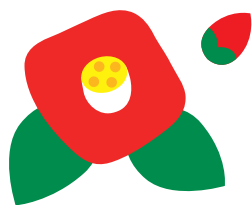
呼吸器は、火曜、木曜の午前に気管支鏡検査を実施しています。



消化器は、超音波内視鏡も不定期ですが実施しています。また、上部消化管術後患者用の処置小腸鏡も導入しました。マンパワーの問題はありますが、通常予定業務の効率化をはかり、緊急依頼に対応できるよう努力してまいります。

本年も、よろしくお願いいたします。

内視鏡センター部長 宮澤 正治



## 臨床・教育研修センター

新年あけましておめでとうございます。

当院では現在12名（基幹型10名、協力型2名）の初期研修医が研修に励んでおります。大都市圏以外の初期研修医定員枠を確保するという厚生労働省の方針により、東京都の定員数が毎年減らされており当院の募集枠も基幹型1学年5名となっておりますが、昨年8月に行われた2023年度採用初期研修医選考試験には57名と過去最高の応募者があり8年連続でマッチング率100%となりました。研修にご協力頂いている地域の先生方には重ねて御礼申し上げます。当院の教育で「全人的医療を実践する力」「確固たる倫理観に基づき判断する力」「自ら学習と研鑽をつむ力」を修得させることが、研修医達のこれからの長い医師人生に多くの実りをもたらすものと信じ、社会の福祉ために貢献出来る人材を育成することを目標に、本年も努力してゆく所存ですので何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

臨床・教育研修センター長 森谷 和徳

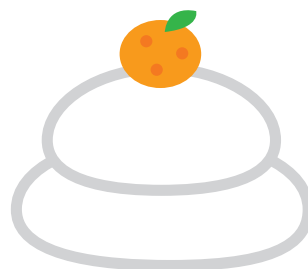
## 地域医療連携センター

新年明けましておめでとうございます。

本年も先生方のご支援をいただきながら地域医療支援病院として、一層皆様との連携を深め、様々なご要望に対応し、地域医療に貢献できるよう職員が一丸となって努力いたす所存でございます。

本年もよろしくお願いいたします。

地域医療連携センター職員一同

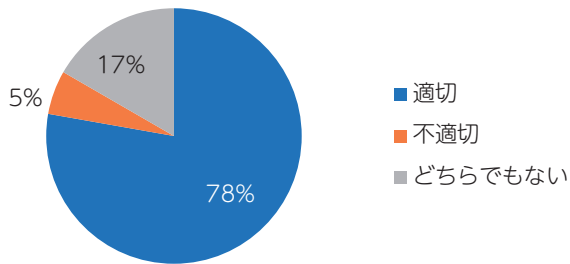


# 第22回立川病院医療連携懇話会 アンケートについて

懇話会にご出席いただきありがとうございました。お答えいただいたアンケート集計になります。いただいたご意見を次回以降の懇話会に生かしていきたいと思っております。

## 開催日について

18件の回答

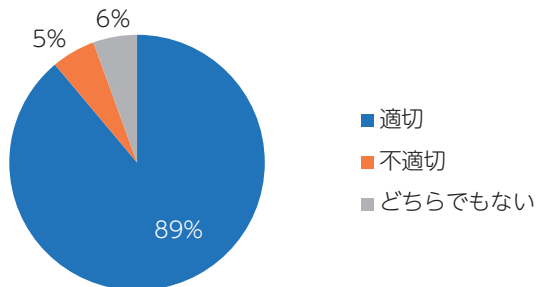


差支えなければ左記の開催日の回答の理由を教えてください 7件の回答

- ・診療に影響のない日時
- ・ウェブなので予定が立てやすかったです
- ・参加しやすかった
- ・時間も診療後の時間であつ遅くなくありがたいです
- ・週末や週初めでなかった点
- ・参加可能であった
- ・講演数が盛り沢山で多かった

## 開始時刻について

18件の回答

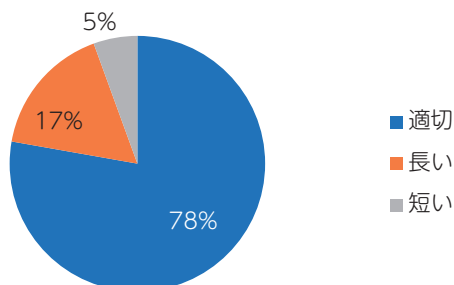


差支えなければ左記の開始時刻の回答の理由を教えてください 7件の回答

- ・視聴可能な時間帯です。
- ・参加した時間帯は勤務時間外であり、すべて自己研鑽となってしまふ。
- ・参加しやすかった
- ・開始するのに無理ない時間です
- ・業務の都合上 一段落ち着いた後からの方がいい
- ・7:30の方が良い
- ・業務終了後なので参加しやすい

## 全体の開催時間について

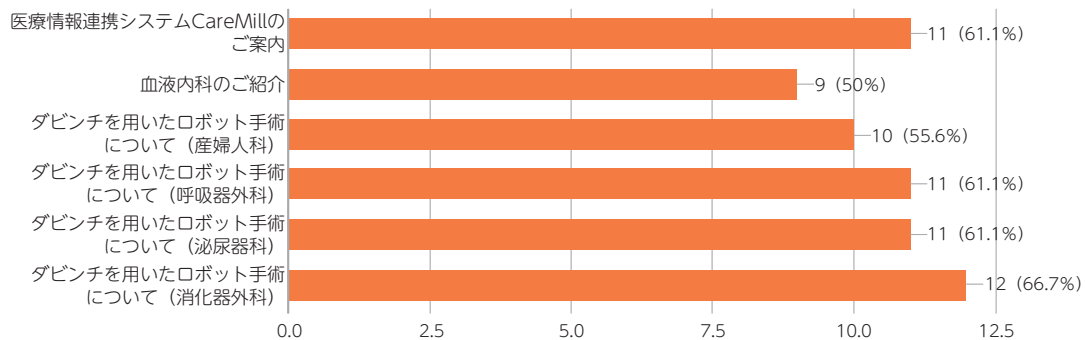
18件の回答



差支えなければ左記の全体の開催時間の回答の理由を教えてください 7件の回答

- ・長くない時間です。
- ・トラブルがあつた時に時間が押して残りが駆け足になってしまう気がします。ウェブなので余裕をみた終了時刻で早めに終わると良いのかなと思いました。
- ・中だるみしてしまう。
- ・ダヴィンチの紹介はまとめてでよいと感じました。
- ・無理なくみれます
- ・45~90分が適当と考えます
- ・Webなので1時間程度が丁度良いと思います

## 興味をひかれた、参考になった講演は何ですか？（複数選択可） 18件の回答



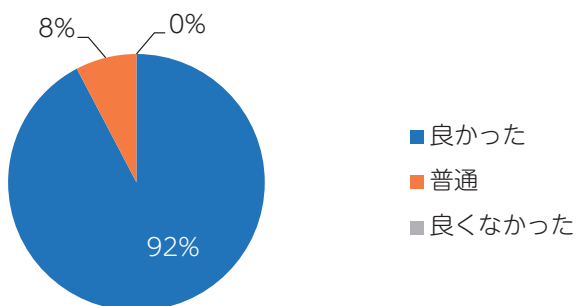
今後取り上げて欲しいテーマがございましたらご教示をお願いします 3件の回答

- ・各科連携で取り組む感染症など
- ・ダヴィンチは他の病院でも動いているので、目新しくはなかった。
- ・口腔外科での使用はこれからでしょうか。

懇親会セットをお申込みの方にご質問します。

懇親会セットはいかがでしたでしょうか？

13件の回答

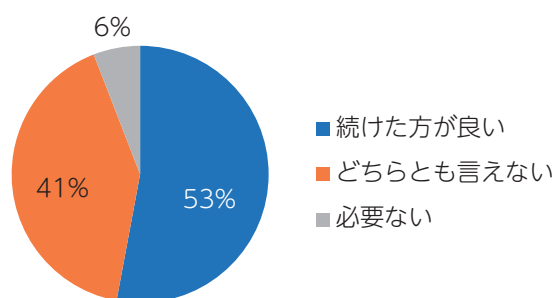


差支えなければ左記の懇親会セットの回答の理由を教えてください 6件の回答

- ・美味しかったです。
- ・任意の時間に摂食できた
- ・選択肢も複数あり
- ・診療連携について話ながら、家族と分けて楽しめた。
- ・初めて利用しましたが、楽しかったです！
- ・興味があった

皆様にお聞きします。懇親会セットは今後も続けた方が良いと思いますか？

17件の回答



今回の懇話会につきまして、ご意見、ご要望がございましたらご記入をお願い致します 8件の回答

- ・途中で止まったりすることが多かった！
- ・いつも大変お世話になっております。テーマを絞って短時間のプレゼンのほうが良いと感じました。
- ・ありがとうございました。
- ・会全体を通して、非常に暖か味があり、参加してよかったと思いました。大変勉強にもなりました。また、立川病院の良さが伝わる会でした。ありがとうございました。
- ・いつもありがとうございます。恐縮です。
- ・構成も素晴らしかったです。ご苦労様でした。
- ・懇親会セットはいいアイデアでした。色々なお話を伺い、勉強になりました。ありがとうございました。



ご要望などございましたら、地域医療連携センターまで  
ご連絡をお願いいたします。

発行：令和5年1月1日（年6回）  
発行者：立川病院地域医療連携センター  
編集者：片井均、風間友子

**国家公務員共済組合連合会 立川病院**

〒190-8531 東京都立川市錦町4-2-22

TEL：042-523-3131 FAX：042-522-5784

ホームページアドレス：<http://www.tachikawa-hosp.gr.jp/index.html>

**地域医療連携センター**

TEL：042-524-2438

FAX：042-523-3160